

# 国立国会図書館 デジタル化資料送信サービス

1. 利用できるもの（詳細は国立国会図書館ホームページをご参照ください）

[https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital\\_transmission/index.html](https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission/index.html)

資料種別	概要
図書	昭和 43 年までに受け入れた図書、震災・災害関係資料の一部 約 57 万点
古典籍	明治期以降の貴重書等や清代後期以降の漢籍等 約 2 万点
雑誌	明治期以降に発行された雑誌（刊行後 5 年以上経過したもので、商業出版されていないもの）約 1 万タイトル（約 80 万点）
博士論文	平成 3～12 年度に送付を受けた論文（商業出版されていないもの）約 12 万点
脚本	日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアムから寄贈された昭和 55 年以前の放送脚本（テレビ・ラジオ番組の脚本・台本）の一部 約 3 千点

※「国立国会図書館デジタルコレクション」の検索は、学内の専用端末、学内 PC、自宅の PC からでも可能です。

※図書館送信限定の閲覧は専用端末のみです。

※「インターネット公開」となっているものは、自宅の PC からでも閲覧できます。

2. 利用できる方

本学学部生、大学院生、教職員

※上記以外の利用資格の方（ライブラリー会員、学外者等）は利用できません。

3. 利用場所

図書館 1 階カウンターの専用端末（自動貸出機の隣に設置。利用申し込みをしてください）

4. 利用可能時間

9 時～17 時（利用受付は 9 時～16 時）

※休館日は利用できません。

## 5. デジタル化資料の閲覧

カウンターで利用申込みをしてください。デジタル化資料の本文を画像で閲覧することができます。

※職員が専用端末を立ち上げ、当該サービスへのログインを行った後、閲覧をしていただきます。利用者自身での端末立ち上げやサービスへのログインはできません。

※利用者自身で資料を複写（印刷）することはできません。複写をご希望の場合はデジタル化資料の複写をご参照のうえ、お申し込みください。

※デジタル画像データのダウンロード、持ち込み機器（パソコン、USB メモリ等）への保存、画面のキャプチャ・カメラ撮影・スキャニング等もできません。

※原則として閲覧は 1 時間以内とさせていただきますが、次に他の方の利用がない場合に限り 1 回延長ができます。

## 6. デジタル化資料の複写

閲覧後、資料の複写を希望される場合は、所定の用紙に必要事項をご記入のうえ、利用可能時間内にカウンターにてお申し込みください。

※料金はモノクロ 1 枚 10 円、カラー1 枚 50 円です。

※料金がかかるためキャンセルはできません。

※著作権保護期間中の資料は、調査研究を目的とする場合に限り、著作権法の範囲内でのみ複写が可能です。

※図書館向けデジタル化資料送信サービスは、著作権の保護期間切れが確認できず、一般公開ができない資料のうち、絶版等の理由で入手が難しいものについて特別に配信が受けられるものです。全頁複写は原則として受け付けることはできません。

※申込後、複写をするため、複写物の提供までには数日お時間をいただきます。後日、図書館カウンターにて料金(証紙)と引き換えにお受け取りください。